

## 人文学部卒業研究

題 目 障がい者と女性に優しい企業とは

---

指導教授 三摩 真己 印

---

提出年月日 2018年 12月 14日

---

学籍番号 HI15068

---

氏 名 渡辺 菜奈

---

障がい者と女性に優しい企業とは  
HI15068 渡辺菜奈 (HI 12034 杉田雄哉)

要旨

この作品は、社会的立場の低い障がい者と女性に優しい会社とは、どのような取り組みが行われていて、具体的にどのような点が優しいのか、また、他の企業とはどのような違いがあるのかを映像化した作品である。

世の中では、障がい者は社会的弱者と言われており、障害を持っているため働き口が少なく、働けない障がい者が数多くいる。そんな中、障がい者の法定雇用率2.2%達成のために積極的に障がい者雇用に取り組む企業がある。ホンダロジコムは、トヨタ自動車の部品を扱う物流センターである。その会社が春日井に雇用者が働くファームを作り、きくらげを生産するプロジェクトに取り組んでいる。ホンダロジコムは、挑戦することを常に意識しているため、失敗しても怒られない環境にある。そのため、障がい者が伸び伸びと働くことができ、非常に働きやすい環境なのである。現在、市場に出回っているきくらげのほとんどが中国産であり、国内自給率はわずか5%だ。障がい者が働く春日井ファームでは、無農薬で品質管理がされている国産きくらげを生産している。完全無農薬のきくらげは多くの人に喜ばれている。また、新たな商品開発として、きくらげを使ったみそ汁やパスタを味わう試食会も行われた。きくらげと他の商品のコラボによって、きくらげの知名度を向上させることができるのだ。そして、障がい者の働き口がさらに広がることを目標としている。

世の中は、待機児童が増え続けている。そこで、「ロジキッズ」という託児所を2017年に開設した。「ロジキッズ」三店舗の他にも、グループ会社が運営する「ニコフレンズ」も存在する。女性が働く環境を整えることによって、より多様な人材が生まれグローバルな世界にもつながるだろう。この作品はホンダロジコムの障がい者雇用や託児所設置と言った取り組みを通して働きやすさ、企業の地域貢献を考察したものである。

キーワード

障がい者雇用 働きやすい環境 国産きくらげ 新たな商品開発 待機児童

## 目次

1. なぜこのテーマを選んだのか	1
2. ねらい	1
3. 構成	
3. 1 アバン	2
3. 2 タイトル	2
3. 3 会社概要	2
3. 4 社長インタビュー	3
3. 5 物流センター	3
3. 6 春日井ファーム	3
3. 7 中部大学との連携	4
3. 8 女性に優しい会社	5
3. 9 社会と企業の関連性	5
4. 撮影を通して	
4. 1 撮影を通して気を付けたこと	6
4. 2 撮影を通して学んだこと	7
5. 編集を通して	
5. 1 ナレーションを通して気を付けたこと	7
5. 2 ナレーションを通して学んだこと	8
6. まとめ	8
参考WEB ページ	10
付録1 構成表	i
付録2 台本	xiii